社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会　　令和５年１月　第７４号

ふくしの森ステーション かじ だより

発　行：飯能市社会福祉協議会/ふくしの森ステーションかじ（加治東地区行政センター内）
電　話：070-7792-2423（不在時は本部へ転送されます。）/ファクス：050-3156-2236
メール：station-kaji@hannosyakyo.or.jp

“ふくしの森ステーション”は地域の何でも相談窓口です。
（開所日時：火～金曜日（祝は除く）9:15～16:15）
・社会福祉協議会職員のコミュニティソーシャルワーカーが活動する地域の拠点です。
・地域福祉活動を支援します。

“子どもの居場所”って？

飯能市において盛んになりつつある活動が「子どもの居場所づくり」。では、子どもの居場所とはどんな場所でしょうか？

埼玉県のホームページによると“「家でも学校でもなく居場所と思えるような場所」のことです。子どもの安全・安心を守るための最低限のルールを除き、「こうあるべき」といった固定概念はなく、人とのつながりや教育・体験の機会を通じて子どもの自己肯定感をはぐくみ、貧困や孤独・孤立の解消、コミュニティの再生などの役割も担っています。”とされています。

みなさんも聞きなじみのある子ども食堂のほか、学習支援やプレーパークという活動も子どもの居場所づくりの一つです。

プレーパークEGAO（緑町）

えんがわサロン松原「宿題をしよう！」（岩沢）

昨年実施した本市での調査（小学5年・中学2年対象）でも6人に1人が「安心して過ごせる場所がない」と回答をしており、子どもたちが抱えている困難さについて、家庭や学校だけでなく、地域でも考えていくことが必要になっているかもしれません。

飯能市で活動している子どもの居場所づくりについて紹介しますので、一度のぞいてみませんか？

〇子ども食堂
・はんのうみんな食堂（東町）
〇学習支援
・えんがわサロン松原「宿題をしよう！」（岩沢）
・子どもエコクラブW こどもの居場所づくり（仲町）
・未来ステーション寺子屋（原市場）
〇プレーパーク
・プレーパークEGAO（緑町）
・にちにちのはら（小岩井）
〇その他
・きまぐれ駄菓子屋（双柳）
※上記は主に小学生以上が参加できる居場所です。詳しくはふくしの森ステーションかじへお問合せください。

はんのうふくしの森プラン推進市民会議“学びの場” ～子どもの今、居場所の役割～

日時：令和５年１月２１日（土）
10：00～12:00
講師：中野謙作氏
（一般社団法人栃木県若年者支援機構代表理事、ひきこもり総合相談センターポラリスとちぎセンター長、認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク副理事長）

開催方法：Zoomによるオンライン形式
参加費：無料
申込み：令和５年１月１６日（月）までに
ファクス（050-3156-2236）かメール
（tiikifukusi@hannosyakyo.or.jp）にて申込
①氏名/②電話番号/③メールアドレス

社会環境の複雑化に伴い、子ども・若者が抱える問題も様々であり、複雑化してきています。

この”学びの場“では、20年以上にわたり子ども・若者支援の第一線で活躍される、一般社団法人栃木県若年者支援機構代表理事中野謙作氏をお招きし、子ども・若者の現状や支援の実例についてご講演いただきます。

「はんのうふくしの森プラン推進市民会議」は、地域福祉に関心のある市民の学びと交流の場です。ぜひ、たくさんの方の参加をお待ちしています。

“ふくしの森ステーションかじだより”は各自治会のご協力で回覧していただいています。